

第4節 秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。また、岩舟町との合併を記念し、市民と一緒に本市の新しい門出を祝い、新しい「栃木市」の一体感を醸成するため、11月13日に栃木文化会館において合併記念式典を挙げた。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市長へのアイデア直通便などを実施し、市政に関する意見・提案を広く求めた。

栃木市マスコットキャラクター活用業務については、4月5日に誕生した栃木市マスコットキャラクターとち介を広くPRすることで、市民の一体感の醸成や栃木市の知名度の向上に努めた。とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認を行うほか、ゆるキャラグランプリ2014に参戦し、初出場ながら8位を獲得した。

秘書担当

- 1 市長のホームページの管理
 - ・市長のメッセージの更新 随時
 - ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
 - ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月1日頃）
- 2 下野新聞社への市長日程の提供
毎月下旬に翌月の市長日程の抜粋を報告した。
- 3 表彰
市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。
 - ・実施日 11月19日（水）
 - ・場 所 市役所 正庁
 - ・市政功労者表彰（敬称略）
表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

| | | |
|-------|--------------|---------|
| 監査委員 | 在職 12 年 6 か月 | 板 倉 安 秀 |
| 学校医 | 在職 20 年 8 か月 | 持 田 忍 |
| 学校歯科医 | 在職 20 年 8 か月 | 石 川 裕 一 |
| 学校歯科医 | 在職 20 年 8 か月 | 田 中 悦 夫 |
| 消防団員 | 在職 29 年 8 か月 | 荒 川 昌 平 |
| 消防団員 | 在職 33 年 8 か月 | 白 井 誠 |
| 消防団員 | 在職 30 年 8 か月 | 大 森 哲 夫 |
| 消防団員 | 在職 21 年 8 か月 | 尾 花 讓 治 |
| 消防団員 | 在職 24 年 8 か月 | 柏 倉 利 彦 |
| 消防団員 | 在職 28 年 8 か月 | 関 口 清 治 |
| 消防団員 | 在職 20 年 8 か月 | 早乙女 芳 昭 |
| 消防団員 | 在職 21 年 8 か月 | 棚 橋 利 行 |
| 消防団員 | 在職 21 年 2 か月 | 長 成一郎 |
| 消防団員 | 在職 41 年 4 か月 | 時 田 喜久や |
| 消防団員 | 在職 24 年 8 か月 | 伏 木 順 一 |
| 消防団員 | 在職 24 年 8 か月 | 森 田 秀 夫 |
| 消防団員 | 在職 32 年 8 か月 | 和賀井 祥 男 |

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第 4 条第 1 項による表彰

| | |
|-----|------------------------------|
| 徳 行 | 石 川 猛 |
| 徳 行 | いすゞ自動車(株)栃木工場 工場長 村 田 幸 義 |
| 徳 行 | 板 倉 安 秀 |
| 徳 行 | 片 柳 彬 雄 |
| 徳 行 | 越 谷 清 二 |
| 徳 行 | 下都賀酒造協同組合 代表理事 相 良 洋 行 |
| 徳 行 | 鈴 木 杏 子 |
| 徳 行 | 田 村 門 一 |
| 徳 行 | 中 村 和 男 |
| 徳 行 | 藤 沼 多 門 |
| 徳 行 | 本 澤 清 治 本 澤 尚 子 |

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第 5 条による表彰

市民栄誉賞（平成 26 年度全国高等学校総合文化祭囲碁部門女子個人優勝、全国高等学校
学校囲碁選抜大会女子個人戦優勝）

毛 塚 美 希

市民栄誉賞（第 17 回アジア競技大会体操競技女子団体総合銅メダル）

佐 藤 亜希穂

市民栄誉賞（平成 26 年全国小学生陸上競技交流大会優勝）

下都賀 T O J 男子 4×100m リレーチーム

4 新春賀詞交歓会

- ・実施日 1月6日（火）
- ・場所 サンプラザ
- ・主催団体 市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会
都賀町商工会・西方商工会・岩舟町商工会・下野農業協同組合
上都賀農業協同組合・栃木市自治会連合会
- ・参加者数 398人
〔 栃木市182人、市議会32人、商工会議所80人、
商工会39人（大平13人、藤岡10人、都賀5人、西方4人、岩舟7人）
J A しもつけ50人、J A かみつが2人、自治会関係13人 〕

5 栃木市・岩舟町合併記念式典

- ・開催日 11月13日（木）
- ・場所 栃木文化会館
- ・招待者数 1,490人
- ・表彰 合併功労者総務大臣表彰 4人
感謝状受章者（合併協議会委員） 23人
"（旧岩舟町議会議員） 10人

広報広聴担当

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

ア 広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 毎月1回 52,800部
- ・仕様 A3判2つ折り

| 号 | ページ数 | | 号 | ページ数 | | 号 | ページ数 | |
|---------|------|----|----------|------|----|---------|------|----|
| | 4色 | 2色 | | 4色 | 2色 | | 4色 | 2色 |
| 49(5月号) | 4 | 12 | 53(9月号) | 4 | 12 | 57(1月号) | 4 | 12 |
| 50(6月号) | 4 | 12 | 54(10月号) | 4 | 12 | 58(2月号) | 4 | 12 |
| 51(7月号) | 4 | 12 | 55(11月号) | 4 | 16 | 59(3月号) | 4 | 12 |
| 52(8月号) | 4 | 12 | 56(12月号) | 4 | 12 | 60(4月号) | 4 | 12 |

イ 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 28部

- ・仕様 B5判点字用紙（約40ページ）

ウ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 毎月1回 年間12回
- ・発行時期 広報とちぎ発行日～数日後（カセット・CD）

(2) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）5,039,379件

(3) SNSを活用した広報

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行った。

市ホームページのトップページに公式ツイッターと公式フェイスブックのバナーを設け、簡単にアクセスできるようにした。

投稿内容は、行政情報、観光情報、とち介情報、災害情報等。

- ・投稿数 フェイスブック765件 ツイッター481件

(4) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・栃木市長通信

広報とちぎの「市長通信」のケーブルテレビ版。市政情報等を市長から伝える。5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（週5日、1日5回程度放送）

- ・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、毎週月・火・水・金曜日に12分間放送した。（1日6回）

- ・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月・火・水曜日に1分前後放送した。

- ・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」

10分番組で、1月1日（木）、2日（金）に放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「2015年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（木）、2日（金）に放送した。

ウ 栃木放送（CRT）

市政のPRを行うため、(株)栃木放送に番組製作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（木）、4日（日）に放送した。

エ エフエム栃木

市政のPRを行うため、（株）エフエム栃木に番組製作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新春市長インタビュー」

10分番組で、1月5日（月）に放送した。

(5) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(3回)

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ 市政情報の提供（FAXにより随時）

- ・情報提供件数 431件

(6) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員（庶務担当TL）を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

- ・実施日 2月12日（木）参加者107人（広報活動推進員、各課長）
- ・テーマ「新聞紙面で取り上げたい『情報』」
- ・講師 下野新聞社栃木支局長 石崎倫子記者

(7) 栃木市ふるさと大使

本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱している。（平成24年度から任期2年）

新たに、1名 橋本章氏（元日本通運株式会社副社長）にふるさと大使を委嘱した。

栃木市ふるさと大使 9人（澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏、橋本章氏）

1団体（栃木ウーヴァFC）

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見・提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図ることができた。

平成26年度より岩舟地域が加わり、22回の開催となった。

・ 栃木地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|----------|--------|----------------|
| 8月 1日（金） | 93 | 第5地区コミュニティセンター |
| 8月 4日（月） | 88 | 皆川公民館 |
| 8月 7日（木） | 111 | 寺尾公民館 |
| 8月18日（月） | 116 | 第6地区コミュニティセンター |
| 8月19日（火） | 103 | 第4地区コミュニティセンター |
| 8月20日（水） | 102 | 国府公民館 |

・ 大平地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|----------|--------|----------|
| 6月30日（月） | 86 | 大平隣保館 |
| 7月 7日（月） | 88 | 大平総合支所 |
| 7月 8日（火） | 98 | 大平東地区公民館 |

・ 藤岡地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|----------|--------|---------|
| 7月14日（月） | 63 | 藤岡遊水池会館 |
| 7月16日（水） | 60 | 部屋地区公民館 |
| 7月17日（木） | 46 | 赤麻地区公民館 |
| 7月18日（金） | 57 | 三鴨地区公民館 |

・ 都賀地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|-----------|--------|-----------|
| 10月 1日（水） | 69 | 合戦場小学校体育館 |
| 10月 6日（月） | 55 | 都賀公民館 |
| 10月 8日（水） | 60 | 赤津小学校体育館 |

・ 西方地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|-----------|--------|-----------|
| 10月20日（月） | 45 | 真名子夢ホール |
| 10月23日（木） | 39 | 西方保健センター |
| 10月24日（金） | 42 | 西方総合文化体育館 |

・ 岩舟地域

| 実施日 | 出席者（人） | 会場 |
|-----------|--------|------------|
| 10月29日（水） | 68 | 静和地区公民館 |
| 10月30日（木） | 57 | 商工会館 |
| 10月31日（金） | 64 | 岩舟健康福祉センター |

(2) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

- ・受付通数 34通（提案件数 47件）
- (3) 市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

 - ・投書件数 133件
- (4) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

 - ・投書件数 38件
- (5) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付
 - ・投書件数 22件
- (6) 来庁やお電話による市政に関するご意見の受付
 - ・ご意見数 20件
- (7) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。また、条例化に向けた取組みを行った。

 - ・実施件数 14件

3 マスコットキャラクター活用関係

- (1) とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、市内外の地域イベント等に派遣し、とち介自身のPRと共に市民の一体感の醸成につとめた。

 - ・派遣回数 398回（市内353回 市外45回） 月平均 33.2回
- (2) デザイン申請・承認手続き

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認を行った。

 - ・承認件数 228件（販売品162件 非売品66件）
 - ・商品 キーホルダー、缶バッジ、マグネット、クリアファイル、ストラップ等
- (3) ゆるキャラグランプリ2014への参戦

全国のキャラクター約1,700体がエントリーして人気投票を行う、ゆるキャラグランプリ2014に参戦し、初参戦ながら第8位を獲得した。

 - ・投票期間 9月2日（火）～10月20日（月）
 - ・開催地 11月1日（土）～3日（月・祝）

ゆるキャラ®グランプリ 2014 in あいち セントレアにて決戦投票および
ゆるキャラ®グランプリ 2014表彰式
 - ・結果 第8位 獲得票数 469,684票
- (4) とち介関連のイベント開催

とち介が主催するイベントを開催した。

 - ・ゆるキャラグランプリに挑むとち介の決起大会 8月26日（火）
 - ・とち介のゆるキャラグランプリ2014結果報告会 11月10日（月）

- ・とち介のキャラ弁コンテスト 8月20日～9月19日
応募総数38作品 最優秀賞 1点 優秀作品 3点
- ・とち介のクリスマス会 12月13日（土） 栃木市役所1階通路
- ・とち介のスタンプラリー 2月20日（金）～3月22日（日）
市内10か所にスタンプポイントを設け、スタンプラリーを行った。
参加した方から抽選で、スタンプ押印の数によって異なる景品を差し上げた。
参加総数425人 特賞3名（スタンプ10個）A賞5名（スタンプ5個）
B賞10名（スタンプ3個）

(5) 庁用車等へのとち介マグネットステッカーの装着

市の所有する庁用車（大型バス含む）及びふれあいバス、蔵タクにとち介のマグネットステッカーを装着し、市民に親しまれる市役所を目指した。

- ・庁用車等（直径30cm：蔵タク含む） 330枚
- ・大型バス（直径50cm：ふれあいバス含む）92枚

(6) マスコットキャラクター応援基金の設置

マスコットキャラクターの活用を推進する事業の財源に充てるため、「栃木市マスコットキャラクター応援基金」を設置した。また、栃木市ふるさと納税寄附金のコースに「マスコットキャラクター活動支援事業」を設置し、寄付を募った。

- ・条例制定日 9月25日（条例第42号）
- ・受入件数／受入額 107件 2,673,851円
（内訳 マスコットキャラクター応援基金への寄付 5件 202,851円
栃木市ふるさと納税への寄付 102件 2,471,000円）

4 とち介専用車両購入事業

とち介がイベント等に行く際の専用車両を購入した。

- ・購入金額 3,510,000円
- ・車種 トヨタ レジアスエース 2,000CC 1ナンバー
とち介デザインのラッピング塗装済